

介護・福祉ネットみやぎ速報

発行者 NPO 法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ
責任者 渡辺 淳子

☎ 022-276-5202

022-276-5205



●NPO 法人介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ 「2023年度総会&記念講演」を開催しました！

6月15日（木）13時00分より16時00分までフォレスト仙台第2フォレストホールにおいて「2023年度総会」を正会員36人（本人出席18人・書面議決書18人）の参加で開催し、オンライン視聴も含め45人が傍聴しました。

内舘昭子理事長の開会挨拶の後、来賓を代表して、宮城県保健福祉部長寿社会政策課医療政策専門監高橋征史さん、仙台市健康福祉局保険高齢部介護事業支援課課長古城雅子さんよりご祝辞がありました。

議案は、第1号議案 2022年度事業報告承認の件、第2号議案 2022年度決算報告承認の件、第3号議案 2023年度事業計画及び活動予算決定の件について、渡辺淳子理事から一括して提案を行い、全議案とも満場一致で承認されました。引き続き、総会決議（案）が提案され、出席者全員の拍手で採択されました。

総会に先立ち、総会記念講演を『「介護保険はどこに向かうのか？』～社会保障と介護のゆくえ～』と題し、淑徳大学総合福祉学部教授結城康博さんよりご講演いただきました。ハイブリット形式で100人を上回る参加がありました。

我が国は急速な少子高齢化に直面している。団塊世代が85歳になる2035年には要介護者が急増し、人手不足と少子化の影響で、需要バランスの崩れがさらに深刻化し、高齢者は介護職から選択される時代になる。今後、若年層が少ないながらも介護人材の確保・定着に社会全体が邁進し、2035年以降に向けた抜本的な施策が求められる。介護施策の充実には「負担」と捉えるのではなく、地域経済活性化につながる「投資」とする発想の転換が必要だと強調されました。また、介護人材の一部を公務員化すべきだとする持論を展開しました。

2024年介護報酬改定については実質＋ゼロ改定だと予測。本体報酬が上がらなければ、介護事業所の経営の深刻さは増すばかりだろうと指摘されました。

介護保険制度を取り巻く問題点や課題を学習し、より良い制度を目指して運動をすすめていくことを確認できた総会 & 記念講演でした。



内舘理事長挨拶



結城康博教授 講演の様子